

教科:	国語	科目:	文学国語	単位数:	3
対象年次・クラス:	2年次				
教材:	教科書	新編 文学国語 (大修館書店)			
	補助教材	プリント ICT機器			

教科目標	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	漢字の読み書き、言葉の意味や用例を活用し、文章表現ができる。	・話の展開を理解し、内容を要約できる。 ・他者と対話し、共感したり、意見の違いに気づくことができる。	・疑問や興味を持った言葉、作者、作品について調べることができる。

科目目標	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深める。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもつ。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価基準	知	思	態	配当時数
			語・文	書・読					
1学期	単元 1 身内ほど厄介なものはない	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	次の観点別評価基準により評価する。	○	○	○	10
	【知識及び技能】	・指導事項			【知識及び技能】				
	・文学的な文章の種類や特徴について理解を深める。	文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えること。			・文学的な文章の種類や特徴について理解を深めている。				
	・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。				・語句の量を増やし、語彙を豊かにしている。				
	【思考力、判断力、表現力等】	・教材	○	○	【思考力、判断力、表現力等】	○	○	○	10
	・内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶ。	教科書、プリント			・内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を身につけている。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）			【主体的に学習に取り組む態度】				
	・言語習慣の違いにより起こった出来事を読み取り、対する対処を読み取ることに努める。	グループ学習でのチャット機能の活用、ファイル共同編集等			・言語習慣の違いにより起こった出来事を読み取り、対する対処を読み取ることに努める。				
	単元 2 神去なあな日常	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	次の観点別評価基準により評価する。	○	○	○	10
	【知識及び技能】	・指導事項			【知識及び技能】				
	・文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解する。	語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈すること。			・文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解している。				
	・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。				・語句の量を増やし、語彙を豊かにしている。				
	【思考力、判断力、表現力等】	・教材	○	○	【思考力、判断力、表現力等】	○	○	○	10
	・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶ。	教科書、プリント			・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法が身についている。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）			【主体的に学習に取り組む態度】				
	・「勇気」の行動を整理し、神去村での生活を通して「勇気」の心情がどう変化しているかを粘り強く捉えることに努める。	グループ学習でのチャット機能の活用、ファイル共同編集等			・「勇気」の行動を整理し、神去村での生活を通して「勇気」の心情がどう変化しているかを粘り強く捉えることに努める。				
	定期考査（1学期中間考査）								1
	単元 3 永訣の詩	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	次の観点別評価基準により評価する。	○	○	○	10
	【知識及び技能】	・指導事項			【知識及び技能】				
	・我が国の言語文化の特質への理解を深める。	文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察すること。			・我が国の言語文化の特質への理解を深めている。				
	・音読し、詩の構成やリズムを理解する。				・音読し、詩の構成やリズムを理解している。				
	【思考力、判断力、表現力等】	・教材	○	○	【思考力、判断力、表現力等】	○	○	○	10
	・詩の構成や比喩に注目して読み、自分と他者との関係性について、作者の捉え方を理解する。	教科書、プリント			・詩の構成や比喩に注目して読み、自分と他者との関係性について、作者の捉え方を理解している。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）			【主体的に学習に取り組む態度】				
	・象徴的な表現を読み取り、進んで表現上の効果や作品世界、そこに込められた心情などを理解することに努める。	グループ学習でのチャット機能の活用、ファイル共同編集等			・象徴的な表現を読み取り、進んで表現上の効果や作品世界、そこに込められた心情などを理解しようとしている。				
	単元 4 その日東京駅五時二十五分発	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	次の観点別評価基準により評価する。	○	○	○	10
	【知識及び技能】	・指導事項			【知識及び技能】				
	・文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解する。	作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、作品が成立した背景などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めること。			・文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解している。				
	・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。				・語句の量を増やし、語彙を豊かにしている。				
	【思考力、判断力、表現力等】	・教材	○	○	【思考力、判断力、表現力等】	○	○	○	10
	・作品に関連のある事項について調べ、その成果を文章にまとめたリ発表したりする方法を学ぶ。	教科書、プリント			・作品に関連のある事項について調べ、その成果を文章にまとめたリ発表したりする方法が身についている。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）			【主体的に学習に取り組む態度】				
	・登場人物の心情と行動の変化を時間の順序に沿って粘り強く読み取り、戦争や国家と個人の在り方について考える。	グループ学習でのチャット機能の活用、ファイル共同編集等			・登場人物の心情と行動の変化を時間の順序に沿って粘り強く読み取り、戦争や国家と個人の在り方について考える。				
	定期考査（1学期期末考査）								1

教科:	国語	科目:	文学国語	単位数:	3
対象年次・クラス:	2年次				
教材:	教科書	新編 文学国語 (大修館書店)			
	補助教材	プリント ICT機器			
教科目標	【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】		【学びに向かう力、人間性等】
	漢字の読み書き、言葉の意味や用例を活用し、文章表現ができる。		・話の展開を理解し、内容を要約できる。 ・他者と対話し、共感したり、意見の違いに気づくことができる。		・疑問や興味を持った言葉、作者、作品について調べることができる。
科目目標	【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】		【学びに向かう力、人間性等】
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深める。		「書くこと」、「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。		言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもつ。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価基準	知	思	態	配当時数
			語・文	書・読					
2 学 期	単元 5 ナイン	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	次の観点別評価基準により評価する。	○	○	○	12
	【知識及び技能】	・指導事項			【知識及び技能】				
	・文学的な文章の種類や特徴について理解を深める。	文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えること。			・文学的な文章の種類や特徴について理解を深めている。				
	・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。				・語句の量を増やし、語彙を豊かにしている。				
	【思考力、判断力、表現力等】	・教材	○	○	【思考力、判断力、表現力等】	○	○	○	11
	・登場人物の発言から表に現れない心情を読み取り、人間の関係性の深淺について考察する。	教科書、プリント			・登場人物の発言から表に現れない心情を読み取り、人間の関係性の深淺について考察している。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)			【主体的に学習に取り組む態度】				
	・登場人物の特徴について、積極的に自分の考えをまとめる。	グループ学習でのチャット機能の活用、ファイル共同編集等			・「登場人物の特徴について、積極的に自分の考えをまとめようとしている。」				
	単元 6 古典の世界3	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	次の観点別評価基準により評価する。	○	○	○	1
	【知識及び技能】	・指導事項			【知識及び技能】				
	・文学的な文章における文体的特徴や表現の技法を理解する。	語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈すること。			・文学的な文章における文体的特徴や表現の技法を理解している。				
	・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。				・語句の量を増やし、語彙を豊かにしている。				
	【思考力、判断力、表現力等】	・教材	○	○	【思考力、判断力、表現力等】	○	○	○	12
	・日本の伝統文化を論じた文章に触れ、抽象的な内容がどのように説明されているか理解する。	教科書、プリント			・日本の伝統文化を論じた文章に触れ、抽象的な内容がどのように説明されているか伝え合うことができている。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)			【主体的に学習に取り組む態度】				
	・粘り強く読み、学習課題に沿って、その構成・展開や表現について考える。	グループ学習でのチャット機能の活用、ファイル共同編集等			・粘り強く随想を読み、学習課題に沿って、その構成・展開や表現について考える態度を身に付けている。				
	定期考査(2学期中間考査)								
	単元 7 古典の世界1	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	次の観点別評価基準により評価する。	○	○	○	1
	【知識及び技能】	・指導事項			【知識及び技能】				
	・二つの文章を読み比べ、それぞれの文体・表現の特徴を理解する。	他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察すること。			・二つの文章を読み比べ、それぞれの文体・表現の特徴を理解している。				
	・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。				・語句の量を増やし、語彙を豊かにしている。				
	【思考力、判断力、表現力等】	・教材	○	○	【思考力、判断力、表現力等】	○	○	○	11
	・作品に関連のある事項について調べ、その成果を文章にまとめた後発表したりする方法を学ぶ。	教科書、プリント			・作品に関連のある事項について調べ、その成果を文章にまとめたり発表したりする方法を工夫している。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)			【主体的に学習に取り組む態度】				
	・粘り強く読み、学習課題に沿って、その構成・展開や表現について考える。	グループ学習でのチャット機能の活用、ファイル共同編集等			・フェルメールやフェルメール作品に対する向き合い方について、二つの文章の筆者間の違いを積極的に考えている。				
	単元 8 晴れた空の下で	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	次の観点別評価基準により評価する。	○	○	○	1
	【知識及び技能】	・指導事項			【知識及び技能】				
	・文学的な文章における文体的特徴や表現の技法を理解する。	語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈すること。			・様々な表現の技法を身に付けている。				
	・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。				・語句の量を増やし、語彙を豊かにしている。				
	【思考力、判断力、表現力等】	・教材	○	○	【思考力、判断力、表現力等】	○	○	○	12
	・内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、解釈の多様性について考察する姿勢を養う。	教科書、プリント			・内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、解釈の多様性について考察し、伝えることができている。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)			【主体的に学習に取り組む態度】				
	・場面ごとの展開や登場人物の心情の変化を粘り強く読み取ることに努める。	グループ学習でのチャット機能の活用、ファイル共同編集等			・内供の鼻の変化と心情の変化を粘り強く読み取ることに努めている。				
	定期考査(2学期期末考査)								

科目 目標	【 知 識 及 び 技 能 】	【 思考力、判断力、表現力 等 】	【 学びに向かう力、人間性 等 】
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深める。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもつ。

[illegible]

教 科：	数学	科 目：	数学 I	単位数：	2
対象年次・クラス：	2 年次四修制				
教 材：	教科書	高校数学 I (実教出版)			
	補助教材	高校数学 I 専用スタディノート (実教出版) プリント ICT 機器			

	【 知 識 及 び 技 能 】	【 思考力、判断力、表現力 等 】	【 学びに向かう力、人間性 等 】
教科 目 標	数学の基本的な概念や原理・法則を理解し、かつ数学的に正確に表現・処理することができる。	事象を数式化し、論理的に考察することができる。また数や式を目的に応じて変形することができ、数学的に簡潔で正確に表現できる。	事象を数式化し、論理的に考察することができる。また数や式を目的に応じて変形することができ、数学的に簡潔で正確に表現できる。

	【 知 識 及 び 技 能 】	【 思考力、判断力、表現力 等 】	【 学びに向かう力、人間性 等 】
科 目 目 標	数と式、図形と計量、2 次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。事象を数式化したリ、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力を身に付ける。図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力を付ける。関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴について、表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力を身に付ける。社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を身に付ける。	数学のよさを認識し、数学を活用しようとする。粘り強く考え、数学的論拠に基づいて判断しようとする。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評 価 規 準	知	思	態	配当時数
1 学 期	単元 1 2 章 2 次関数 (1 節 関数とグラフ)	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 2 次関数の値の変化やグラフの特徴について理解できる。	・指導事項 1 次関数とグラフ、2 次関数とグラフ	【知識及び技能】 2 次関数の値の変化やグラフの特徴について理解できている。				
	【思考力、表現力、人間力 等】 2 次関数の式とグラフの関係について多面的に考察し、伝えることができる。	・教材 教科書、ワーク、プリント等	【思考力、表現力、人間力 等】 2 次関数の式とグラフの関係について多面的に考察し、伝えることができる。	○	○	○	13
	【学びに向かう力、人間性 等】 2 次関数と日常生活との関連を知り、関心を持って考察しようとする。	・一人 1 台端末の活用 (場面) 解説、課題の提示・提出	【主体的に学習に取り組む態度】 2 次関数と日常生活との関連を知り、関心を持って考察しようとしている。				
	定期考査 (1 学期中間考査)						1
2 学 期	単元 2 2 章 2 次関数 (2 節 2 次関数の値の変化)	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 2 次関数の最大値や最小値を求めることができる。2 次関数のグラフから 2 次方程式の解を導くことができる。	・指導事項 2 次関数の最大値・最小値、2 次関数のグラフと 2 次方程式、2 次関数のグラフと 2 次不等式	【知識及び技能】 2 次関数の最大値や最小値を求めることができる。2 次関数のグラフから 2 次方程式の解を導くことができる。				
	【思考力、表現力、人間力 等】 2 次方程式の解と 2 次関数のグラフとの関係について理解し、2 次関数のグラフを用いて 2 次不等式の解を求めることができる。	・教材 教科書、ワーク、プリント等	【思考力、表現力、人間力 等】 2 次方程式の解と 2 次関数のグラフとの関係について理解し、2 次関数のグラフを用いて適切な方法で 2 次不等式の解を求めることができる。	○	○	○	13
	【学びに向かう力、人間性 等】 2 次関数と日常生活との関連を知り、関心を持って考察しようとする。	・一人 1 台端末の活用 (場面) 解説、課題の提示・提出	【主体的に学習に取り組む態度】 2 次関数と日常生活との関連を知り、関心を持って考察しようとしている。				
	定期考査 (1 学期期末考査)						1

教 科：	数学	科 目：	数学 I	単位数：	2
対象年次・クラス：	2 年次四修制				
教 材：	教科書	高校数学 I（実教出版）			
	補助教材	高校数学 I 専用スタディノート（実教出版） プリント ICT 機器			

教科目標	【 知 識 及 び 技 能 】	【 思考力、判断力、表現力 等 】	【 学びに向かう力、人間性 等 】
	数学の基本的な概念や原理・法則を理解し、かつ数学的に正確に表現・処理することができる。	事象を数式化し、論理的に考察することができる。また数や式を目的に応じて変形することができ、数学的に簡潔で正確に表現できる。	事象を数式化し、論理的に考察することができる。また数や式を目的に応じて変形することができ、数学的に簡潔で正確に表現できる。

科目目標	【 知 識 及 び 技 能 】	【 思考力、判断力、表現力 等 】	【 学びに向かう力、人間性 等 】
	数と式、図形と計量、2 次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。事象を数式化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力を身に付ける。図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力を身に付ける。関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴について、表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力を身に付ける。社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を身に付ける。	数学のよさを認識し、数学を活用しようとする。粘り強く考え、数学的論拠に基づいて判断しようとする。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評 価 規 準	知	思	態	配当時数
2 学 期	単元 3 3 章 三角比（三角比、三角比の応用）	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 鋭角の三角比の意味と相互関係について理解できる。鋭角の三角比を用いて鈍角の三角比を求めることができる。	・指導事項 三角形、三角比、三角比の利用、三角比の相互関係、三角比の拡張、三角形の面積	【知識及び技能】 鋭角の三角比の意味と相互関係について理解できている。鋭角の三角比を用いて鈍角の三角比を求めることができる。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 三角比を鈍角まで拡張する意義を理解し、三角形の辺と角との関係や平面図形の計量などに活用することができる。	・教材 教科書、ワーク、プリント等	【思考力、判断力、表現力 等】 三角比を鈍角まで拡張する意義を理解し、三角形の辺と角との間の関係や平面図形の計量などに活用することができる。	○	○	○	15
	【学びに向かう力、人間性 等】 三角比と日常生活との連関を知り、関心を持って考察しようとする。	・一人 1 台端末の活用（場面） 解説、課題の提示・提出	【主体的に学習に取り組む態度】 三角比と日常生活との連関を知り、関心を持って考察しようとしている。				
	定期考査（2 学期中間考査）						1
	単元 4 3 章 三角比（正弦定理、余弦定理）	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 正弦定理と余弦定理について理解する。	・指導事項 正弦定理、余弦定理、正弦定理と余弦定理の利用	【知識及び技能】 正弦定理と余弦定理について理解できている。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 正弦定理と余弦定理を用いることができる。角度、辺の長さを求めることができる。	・教材 教科書、ワーク、プリント等	【思考力、判断力、表現力 等】 正弦定理と余弦定理を用いて、角度、辺の長さを求めていくことができる。	○	○	○	7
	【学びに向かう力、人間性 等】 三角比と日常生活との連関を知り、関心を持って考察しようとする。	・一人 1 台端末の活用（場面） 解説、課題の提示・提出	【主体的に学習に取り組む態度】 三角比と日常生活との連関を知り、関心を持って考察しようとしている。				
	単元 5 4 章 集合と論証	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 集合や命題の概念を理解できる。	・指導事項 集合と要素、命題、色々な証明法	【知識及び技能】 集合や命題の概念を理解できている。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 待遇による証明、背理法による証明ができる。	・教材 教科書、ワーク、プリント等	【思考力、判断力、表現力 等】 待遇による証明、背理法による証明ができる。	○	○	○	8
	【学びに向かう力、人間性 等】 数学的思考と日常生活との連関を知り、関心を持って考察しようとする。	・一人 1 台端末の活用（場面） 解説、課題の提示・提出	【主体的に学習に取り組む態度】 数学的思考と日常生活との連関を知り、関心を持って考察しようとしている。				
	定期考査（2 学期期末考査）						1

教 科：	数学	科 目：	数学 I	単位数：	2
対象年次・クラス：	2 年次四修制				
教 材：	教科書	高校数学 I （実教出版）			
	補助教材	高校数学 I 専用スタディノート（実教出版） プリント ICT 機器			

教科 目 標	【 知 識 及 び 技 能 】	【 思考力、判断力、表現力 等 】	【 学びに向かう力、人間性 等 】
	数学の基本的な概念や原理・法則を理解し、かつ数学的に正確に表現・処理することができる。	事象を数式化し、論理的に考察することができる。また数や式を目的に応じて変形することができ、数学的に簡潔で正確に表現できる。	事象を数式化し、論理的に考察することができる。また数や式を目的に応じて変形することができ、数学的に簡潔で正確に表現できる。

科 目 目 標	【 知 識 及 び 技 能 】	【 思考力、判断力、表現力 等 】	【 学びに向かう力、人間性 等 】
	数と式、図形と計量、2 次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。事象を数式化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力を身に付ける。図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力を身に付ける。関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴について、表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力を身に付ける。社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を身に付ける。	数学のよさを認識し、数学を活用しようとする。粘り強く考え、数学的論拠に基づいて判断しようとする。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評 価 規 準	知	思	態	配当時数
3 学 期	単元 6 データの分析	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 統計の基本的な考えを理解できる。	・ 指導事項 データの分析	【知識及び技能】 統計の基本的な考えを理解できている。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察できる。	・ 教材 教科書、ワーク、プリント等	【思考力、判断力、表現力 等】 データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察できている。	○	○	○	17
	【学びに向かう力、人間性 等】 データ分析と日常生活との連関を知り、関心を持って考察しようとする。	・ 一人 1 台端末の活用（場面） 解説、課題の提示・提出	【主体的に学習に取り組む態度】 データ分析と日常生活との連関を知り、関心を持って考察しようとしている。				
	定期考査（学年末考査）						1

教 科：	理科	科 目：	生物基礎	単位数：	2
対象年次・クラス：	2年次				
教 材：	教科書	改訂 新編生物基礎（東京書籍）			
	補助教材	プリント I C T 機器			

	【 知 識 及 び 技 能 】	【 思考力、判断力、表現力 等 】	【 学びに向かう力、人間性 等 】
教 科 目 標	- 自然科学の基本概念や原理についての理解を深める。 - 環境問題やエネルギー問題など、現代社会に関わる科学技術についての見識を持つようになる。 - 自然科学的な問題について、分析し、考察し、解決策を導き出す能力を養う。	- 現象やデータを客観的に観察し、分析し、仮説を立てることができる思考力を養う。 - 課題について、科学的な立場から慎重かつ正確な判断を行うことができるようになる。 - 科学的な発見や知見を分かりやすく伝えることができる能力を身につける。	- 自分自身の学びの意欲や興味を持続ける力を養うことができるようになる。 - 他者や社会、環境に対する理解や尊重、配慮など、社会的な視野やコミュニケーション能力を育むことができる人間性を身につける。

	【 知 識 及 び 技 能 】	【 思考力、判断力、表現力 等 】	【 学びに向かう力、人間性 等 】
科 目 目 標	- 生物と人間生活との関わりについて理解する。 - 実験や観察を通じて、生物学に関する知識を深める。	- 様々な生物現象を論理的に分析し、問題解決能力を身につけることができる思考力を身につける。 - 生物学的な知識をもとに、様々な情報やデータを正確に判断する力を養う。 - 生物について観察・実験などを行い人間生活と関連付けて科学的に考察し表現できる。	- 生物に主体的に関わり、見通しを持ったり、振り返ったりするなど、科学的にさらに探究しようとする。 - 多様性を尊重し、人間としての役割や責任を理解する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評 価 規 準	知	思	態	配当時数
1 学 期	単元 1 生物の特徴	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 ・細胞とその中で行われている代謝について理解させる。	・指導事項 生物の特徴	【知識及び技能】 細胞の構造、機能について理解している。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 ・観察実験などを通して、必要な情報を読み取ることができる。	・教材 ・教科書 ・プリント ・ICT機器及び実験器具（顕微鏡など）	【思考力、判断力、表現力 等】 実験などから得られた様々な情報やデータを正確に判断する。	○	○	○	28
	【学びに向かう力、人間性 等】 ・細胞内で行われていることに興味を持ち、自ら進んで学習に臨む姿勢を持たせる。	・一人1台端末の活用（場面） ・授業で使用するスライドの共有 ・実験結果の撮影 など	【主体的に学習に取り組む態度】 生物に主体的に関わり、科学的にさらに探究しようとする。				
2 学 期	単元 2 遺伝子とそのはたらき	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 ・DNAの構造や性質を、研究史を展開しながら理解させる。	・指導事項 遺伝子とそのはたらき	【知識及び技能】 DNAの構造、機能について理解している。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 ・DNA、遺伝子、ゲノムの関係性を生物学的な視点から思考及び判断できるようにする。	・教材 ・教科書 ・プリント ・ICT機器及び実験器具（顕微鏡など）	【思考力、判断力、表現力 等】 実験などから得られた様々な情報やデータを正確に判断する。	○	○	○	16
	【学びに向かう力、人間性 等】 ・DNAと遺伝情報に興味を持ち、自発的に課題に取り組む姿勢を持たせる。	・一人1台端末の活用（場面） ・授業で使用するスライドの共有 ・実験結果の撮影 など	【主体的に学習に取り組む態度】 生物に主体的に関わり、科学的にさらに探究しようとする。				
3 学 期	単元 3 ヒトの体の調節	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 ・体内環境について、様々な角度から理解させる。	・指導事項 ヒトの体の調節	【知識及び技能】 人体の構造、機能について理解している。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 ・解剖実験などを通して、必要な情報を読み取ることができる。	・教材 ・教科書 ・プリント ・ICT機器及び実験器具（顕微鏡など）	【思考力、判断力、表現力 等】 実験などから得られた様々な情報やデータを正確に判断する。	○	○	○	16
	【学びに向かう力、人間性 等】 ・人体の構造に興味を持ち、自発的に課題に取り組む姿勢を持たせる。	・一人1台端末の活用（場面） ・授業で使用するスライドの共有 ・実験結果の撮影 など	【主体的に学習に取り組む態度】 生物に主体的に関わり、科学的にさらに探究しようとする。				
4 学 期	単元 4 生物の多様性と生態系	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 ・多様性と生態系の関係性について、理解させる。	・指導事項 生物の多様性と生態系	【知識及び技能】 人体の構造、機能について理解している。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 ・実習やフィールドワークなどを通して、必要な情報を読み取ることができる。	・教材 ・教科書 ・プリント ・ICT機器及び実験器具（顕微鏡など）	【思考力、判断力、表現力 等】 実験などから得られた様々な情報やデータを正確に判断する。	○	○	○	18
	【学びに向かう力、人間性 等】 ・多様性、生態系や環境に興味を持ち、自発的に課題に取り組む姿勢を持たせる。	・一人1台端末の活用（場面） ・授業で使用するスライドの共有 ・実験結果の撮影 など	【主体的に学習に取り組む態度】 生物に主体的に関わり、科学的にさらに探究しようとする。				

教 科：	保健体育	科 目：	体育	単位数：	3
対象年次・クラス：	2年次				
教 材：	教科書	新 高等保健体育（大修館）			
	補助教材				

	【 知 識 及 び 技 能 】	【 思考力、判断力、表現力 等 】	【 学びに向かう力、人間性 等 】
教科 目 標	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付ける。	運動や健康についての自己や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	生涯にわたって継続して運動に親しみ健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営もうとする。

	【 知 識 及 び 技 能 】	【 思考力、判断力、表現力 等 】	【 学びに向かう力、人間性 等 】
科 目 目 標	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考、判断し、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組み、互いに協力する、自己の責任を果たす、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲をもち、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しもうとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評 価 規 準	知	思	態	配当時数
1 学 期	単元 1 体育理論	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 運動やスポーツが多様であることを理解できる。	・指導事項 運動、スポーツの文化的特徴	【知識及び技能】 運動、スポーツの特性や発展、効果的な学習の仕方、豊かなスポーツライフ設計の仕方について理解できている。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考、判断できる。	・教材 教科書等	【思考力、判断力、表現力 等】 運動やスポーツについて、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考、判断し、言葉で伝えることができる。	○	○	○	4
	【学びに向かう力、人間性 等】 豊かなスポーツライフの設計に積極的に取り組める。	・一人1台端末の活用（場面）	【主体的に学習に取り組む態度】 豊かなスポーツライフの設計に積極的に取り組み、継続して運動に親しむ姿勢を持つことができる。				
	単元 2 体づくり運動	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 運動を継続する意義、体の構造、運動の原則等を理解できる。	・指導事項 体づくり	【知識及び技能】 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体づくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方等を理解できている。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 自己や仲間の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考、判断できる。	・教材 教科書等	【思考力、判断力、表現力 等】 自己や仲間の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考、判断し、他者に伝えることができる。	○	○	○	10
	【学びに向かう力、人間性 等】 教え合い、1人1人に応じた動きを大切にし、健康や安全を確保できる。	・一人1台端末の活用（場面）	【主体的に学習に取り組む態度】 体づくり運動に主体的に取り組む、1人1人の違いに応じた動きを大切にし、互いに助け合い高め合うことができている。健康や安全を確保しようとする姿勢を持つことができる。				
	単元 3 ダンス	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 ダンスの推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに、技能を身に付ける。	・指導事項 基本的なステップ、全身の運動	【知識及び技能】 ダンスの多様な楽しさや喜びを深く味わうとともに、多様な志向及び体力や技能等の違いの中でダンスを継続的に楽しむことができる技能を身に着ける。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 ダンスにおける自己や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	・教材 教科書、映像等	【思考力、判断力、表現力 等】 主体的に思考し判断したことを、言葉や文章及び動作などで表したり、仲間や教師などに筋道を立てて論理的に伝えたりする力を養う。	○	○	○	28
	【学びに向かう力、人間性 等】 ダンスの学習に主体的に取り組むとともに、公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高める。	・一人1台端末の活用（場面） 各技能の観察・自己評価	【主体的に学習に取り組む態度】 ねらいを達成するための学習に主体的に取り組もうとする意思をもつ。				

教 科：	保健体育	科 目：	体育	単位数：	3
対象年次・クラス：	2 年次				
教 材：	教科書	新 高等保健体育（大修館）			
	補助教材	0			

教科目標	【 知 識 及 び 技 能 】	【 思考力、判断力、表現力 等 】	【 学びに向かう力、人間性 等 】
	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付ける。	運動や健康についての自己や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	生涯にわたって継続して運動に親しみ健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営もうとする。

科目目標	【 知 識 及 び 技 能 】	【 思考力、判断力、表現力 等 】	【 学びに向かう力、人間性 等 】
	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考、判断し、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲をもち、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しもうとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評 価 規 準	知	思	態	配当時数
学 期	単元 4 デニス	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 作戦に応じた技能でゲームを展開することができる。	・指導事項 ルール、技術練習、ゲーム、振り返り	【知識及び技能】 ボールや用具の操作によって「拾う、つなぐ、打つ」などの一連の流れで攻撃を組み立てる攻防を展開できる。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫する。	・教材 教科書等	【思考力、判断力、表現力 等】 自己の課題を発見し、これまで学習した知識や技能を活用して、学習課題への取り組み方を工夫している。	○	○	○	12
	【学びに向かう力、人間性 等】 学習に自主的に取り組み、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にする。	・一人1台端末の活用（場面） 各技能の観察・自己評価	【主体的に学習に取り組む態度】 自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとしている、また一人一人の違いに応じたプレーなどを大切にしようとしている。				
	単元 5 ソフトボール	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 安定したバット操作により出塁、進塁、得点する攻撃と仲間と連携した守備を展開できるようにする。	・指導事項 ルール、技術練習、ゲーム、振り返り	【知識及び技能】 安定したバット操作により出塁・進塁ができ、移動しながらボールを捕ることができる。また、一連の動きでねらった方向へステップを踏みながらボールを投げるができる。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫する。	・教材 教科書等	【思考力、判断力、表現力 等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えようとしている。	○	○	○	12
	【学びに向かう力、人間性 等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとし、作戦などについての話し合いに貢献しようとする。	・一人1台端末の活用（場面） 各技能の観察・自己評価	【主体的に学習に取り組む態度】 自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとしている、また一人一人の違いに応じたプレーなどを大切にしようとしている。				
	単元 6 サッカー	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 安定したボール操作の行い方や技術を理解し、技能の習得をすることができる。	・指導事項 ルール、技術練習、ゲーム、振り返り	【知識及び技能】 基本的なルール、技術の名称や行い方を理解し、ボール操作ができている。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考、判断できる。	・教材 教科書等	【思考力、判断力、表現力 等】 自己や仲間の課題を発見し、合理的計画的な解決に向けて取り組みを工夫できている。状況に応じた技能で仲間と連携し、ゲームを展開できている。	○	○	○	12
	【学びに向かう力、人間性 等】 協働したり勝敗を競ったりするスポーツに親しむ態度を持つことができる。	・一人1台端末の活用（場面） 各技能の観察・自己評価	【主体的に学習に取り組む態度】 フェアなプレイを大切にして勝敗を競ったり、協働したりしてスポーツに親しむ態度を継続しようとしている。				
	単元 7 持久走	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 自己に適したペースで走ることができる。	・指導事項 自己のペースの発見・向上 快適な走り	【知識及び技能】 自己に適したペースを維持することを理解し、安定した走りができている。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 体力や技能の程度、征伐の違いに配慮し、記録の向上に向けて思考することができる。	・教材	【思考力、判断力、表現力 等】 ペースの把握や対応を考えながら競走することができる。	○	○	○	12
	【学びに向かう力、人間性 等】 1人1人の違いに応じた挑戦を大切にできる。	・一人1台端末の活用（場面）	【主体的に学習に取り組む態度】 1人1人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしながら、意欲的に参画することができる。				

教 科：	保健体育	科 目：	体育	単位数：	3
対象年次・クラス：	2 年次				
教 材：	教科書	新 高等保健体育（大修館）			
	補助教材	0			

教 科 目 標	【 知 識 及 び 技 能 】	【 思考力、判断力、表現力 等 】	【 学びに向かう力、人間性 等 】
	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付ける。	運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	生涯にわたって継続して運動に親しみ健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営もうとする。

科 目 目 標	【 知 識 及 び 技 能 】	【 思考力、判断力、表現力 等 】	【 学びに向かう力、人間性 等 】
	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考、判断し、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲をもち、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しもうとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評 価 規 準	知	思	態	配当時数
3 学 期	単元 8 持久走	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 自己に適したペースで走ることができる。	・ 指導事項 自己のペースの発見・向上 快適な走り	【知識及び技能】 自己に適したペースを維持することを理解し、安定した走りができている。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 体力や技能の程度、性別の違いに配慮し、記録の向上に向けて思考することができる。	・ 教材	【思考力、判断力、表現力 等】 ペースの把握や対応を考えながら競走することができる。	○	○	○	9
	【学びに向かう力、人間性 等】 1 人 1 人の違いに応じた挑戦を大切にできる。	・ 一人 1 台端末の活用（場面）	【主体的に学習に取り組む態度】 1 人 1 人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしながら、意欲的に参画することができる。				
	単元 9 器械体操	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 基本的な技術を理解し、技能の習得をすることができる。	・ 指導事項 技術練習	【知識及び技能】 基本的な技術の名称や行い方を理解し、技能を習得することができる。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考、判断できる。	・ 教材 教科書等	【思考力、判断力、表現力 等】 自己に適した技を高めて、取り組みを工夫し、よりよい演技ができている。	○	○	○	18
	【学びに向かう力、人間性 等】 教え合い、1 人 1 人に応じた動きを大切にしてい、健康や安全を確保できる。	・ 一人 1 台端末の活用（場面） 各技能の観察・自己評価	【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に取り組む、1 人 1 人の違いに応じた動きを大切に、互いに高め合うことができる。健康や安全を確保しようとする姿勢を持つことができる。				

教 科：	保健体育	科 目：	保健	単位数：	1
対象年次・クラス：	2 年次				
教 材：	教科書	新 高等保健体育（大修館）			
	補助教材	プリント I C T 機器			

教科目標	【 知 識 及 び 技 能 】	【 思考力、判断力、表現力 等 】	【 学びに向かう力、人間性 等 】
	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付ける。	運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	生涯にわたって継続して運動に親しみ健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営もうとする。

科目目標	【 知 識 及 び 技 能 】	【 思考力、判断力、表現力 等 】	【 学びに向かう力、人間性 等 】
	個人及び社会生活における健康・安全について理解し、技能を身に付ける。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考、判断し、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営もうとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評 価 規 準	知	思	態	配当時数
学 期	単元 1 思春期と健康 【知識及び技能】 思春期における心身の発達や性的成熟について理解する。 【思考力、判断力、表現力 等】 習得した知識を基に、心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために、性に関わる情報を適切に整理することができる。 【学びに向かう力、人間性 等】 思春期における心身の発達や性的成熟について理解しようとしている。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 思春期における体の変化と性機能の成熟 ・教材 教科書等 ・一人 1 台端末の活用（場面） 資料提示	次の観点別評価基準により評価する。 【知識及び技能】 思春期における心身の発達や性的成熟について理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考力、判断力、表現力 等】 生涯の各段階における健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 思春期と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	3
	単元 2 妊娠・出産と健康 【知識及び技能】 受精・妊娠・出産の過程と、それに伴う健康課題について理解する。 【思考力、判断力、表現力 等】 妊娠・出産に関わる情報を適切に整理することができる。 【学びに向かう力、人間性 等】 受精・妊娠・出産の過程と、それに伴う健康課題について理解しようとしている。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 受精・妊娠・出産、母子の健康のために ・教材 教科書等 ・一人 1 台端末の活用（場面） 資料提示	次の観点別評価基準により評価する。 【知識及び技能】 受精・妊娠・出産の過程と、それに伴う健康課題について理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考力、判断力、表現力 等】 生涯の各段階における健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 妊娠・出産について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	7
	単元 3 家族計画 【知識及び技能】 家族計画の意義について理解する。 【思考力、判断力、表現力 等】 結婚生活等の健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健・医療サービスの活用方法を整理することができる。 【学びに向かう力、人間性 等】 家族計画の意義について理解しようとしている。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 家族計画の意義、避妊法の選択と人工妊娠中絶 ・教材 教科書等 ・一人 1 台端末の活用（場面） 資料提示	次の観点別評価基準により評価する。 【知識及び技能】 家族計画の意義について理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考力、判断力、表現力 等】 生涯の各段階における健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 家族計画について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	2
	単元 4 加齢と健康 【知識及び技能】 加齢による心身の変化や、高齢期の健康課題について理解する。 【思考力、判断力、表現力 等】 習得した知識を基に、中高年期の疾病や事故のリスク軽減のための個人の取組と社会的対策を評価することができる。 【学びに向かう力、人間性 等】 加齢による心身の変化や、高齢期の健康課題について理解しようとしている。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 加齢による心身の変化 ・教材 教科書等 ・一人 1 台端末の活用（場面） 資料提示	次の観点別評価基準により評価する。 【知識及び技能】 加齢による心身の変化や、高齢期の健康課題について理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考力、判断力、表現力 等】 生涯の各段階における健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 加齢と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	1
	定期考査（1 学期期末考査）						1

教 科：	保健体育	科 目：	保健	単位数：	1
対象年次・クラス：	2年次				
教 材：	教科書	新 高等保健体育（大修館）			
	補助教材	プリント I C T 機器			

教科目標	【 知 識 及 び 技 能 】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付ける。	【 思考力、判断力、表現力 等 】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	【 学びに向かう力、人間性 等 】 生涯にわたって継続して運動に親しみ健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営もうとする。
------	---	---	--

科目目標	【 知 識 及 び 技 能 】 個人及び社会生活における健康・安全について理解し、技能を身に付ける。	【 思考力、判断力、表現力 等 】 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考、判断し、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。	【 学びに向かう力、人間性 等 】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営もうとする。
------	---	--	--

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評 価 規 準	知	思	態	配当時数
学 期	単元 5 働くことと健康	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 働くこと（労働）の意義と働き方の変化	次の観点別評価基準により評価する。 【知識及び技能】 働くことの意義と働き方の多様化について理解したことを言ったり書いたりしている。				
	【知識及び技能】 働くことの意義と働き方の多様化について理解する。						
	【思考力、判断力、表現力 等】 働く人の健康の保持増進について、習得した知識を基に、向上を図ることと関連付けて課題解決の方法に応用することができる。	・教材 教科書等	【思考力、判断力、表現力 等】 労働災害と健康、働く人の健康の保持増進に関わる取組を整理し、個人生活や社会生活と関連付けて、自他や社会の課題を発見している。	○	○	○	3
	【学びに向かう力、人間性 等】 働くことの意義と働き方の多様化について理解しようとしている。	・一人1台端末の活用（場面） 資料提示	【主体的に学習に取り組む態度】 労働災害と健康、働く人の健康の保持増進について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。				
	単元 6 大気汚染と健康	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 大気汚染による健康への影響	次の観点別評価基準により評価する。 【知識及び技能】 大気汚染による健康への影響について理解したことを言ったり書いたりしている。				
	【知識及び技能】 大気汚染による健康への影響について理解する。						
	【思考力、判断力、表現力 等】 環境づくりにおける事象や情報などについて、健康に関わる原則や概念を基に整理することができる。	・教材 教科書等	【思考力、判断力、表現力 等】 環境と健康について、それらに関わる事象や情報などを整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。	○	○	○	4
	【学びに向かう力、人間性 等】 大気汚染による健康への影響について理解しようとしている。	・一人1台端末の活用（場面） 資料提示	【主体的に学習に取り組む態度】 環境の汚染と健康、環境と健康に関わる対策、環境衛生に関わる活動について、課題の解決に向けた学習活動に主体的に取り組もうとしている。				
	単元 7 水質汚濁・土壌汚染と健康	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 水質汚濁・土壌汚染による健康への影響	次の観点別評価基準により評価する。 【知識及び技能】 水質汚濁・土壌汚染について理解したことを言ったり書いたりしている。				
	【知識及び技能】 水質汚濁・土壌汚染について理解する。						
	【思考力、判断力、表現力 等】 環境づくりにおける事象や情報などについて、健康に関わる原則や概念を基に整理することができる。	・教材 教科書等	【思考力、判断力、表現力 等】 人間の生活や産業活動などによって引き起こされる自然環境汚染について、事例を通して整理し、疾病等のリスクを軽減するために、環境汚染の防止や改善の方策に応用している。	○	○	○	4
	【学びに向かう力、人間性 等】 水質汚濁・土壌汚染について理解しようとしている。	・一人1台端末の活用（場面） 資料提示	【主体的に学習に取り組む態度】 環境の汚染と健康、環境と健康に関わる対策、環境衛生に関わる活動について、課題の解決に向けた学習活動に主体的に取り組もうとしている。				
	単元 8 食品の安全性と健康	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 食品の安全性と課題	次の観点別評価基準により評価する。 【知識及び技能】 食品の安全性が損なわれると健康被害が生じる可能性があることを理解したことを言ったり書いたりしている。				
	【知識及び技能】 食品の安全性が損なわれると健康被害が生じる可能性があることを理解する。						
	【思考力、判断力、表現力 等】 習得した知識を自他の日常生活に適用して、健康被害の防止と健康を保持増進するための計画を立てることができる。	・教材 教科書等	【思考力、判断力、表現力 等】 健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。	○	○	○	4
	【学びに向かう力、人間性 等】 食品の安全性が損なわれると健康被害が生じる可能性があることを理解しようとしている。	・一人1台端末の活用（場面） 資料提示	【主体的に学習に取り組む態度】 健康を支える環境づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。				
定期考査（2学期期末考査）							1

教 科：	保健体育	科 目：	保健	単位数：	1
対象年次・クラス：	2 年次				
教 材：	教科書	新 高等保健体育（大修館）			
	補助教材	プリント I C T 機器			

教 科 目 標	【 知 識 及 び 技 能 】	【 思考力、判断力、表現力 等 】	【 学びに向かう力、人間性 等 】
	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付ける。	運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	生涯にわたって継続して運動に親しみ健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営もうとする。

科 目 目 標	【 知 識 及 び 技 能 】	【 思考力、判断力、表現力 等 】	【 学びに向かう力、人間性 等 】
	個人及び社会生活における健康・安全について理解し、技能を身に付ける。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考、判断し、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営もうとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評 価 規 準	知	思	態	配当時数
3 学 期	単元 9 保健制度とその活用 【知識及び技能】 保健行政の役割について理解する。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 保健行政・保健サービス	次の観点別評価基準により評価する。 【知識及び技能】 保健行政の役割について理解したことを言ったり書いたりしている。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 保健機関の活用の仕方について、関連した情報を整理し、生活の質の向上に向けた課題解決に応用することができる。	・教材 教科書等	【思考力、判断力、表現力 等】 健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。	○	○	○	3
	【学びに向かう力、人間性 等】 保健行政の役割について理解しようとしている。	・一人1台端末の活用（場面） 資料提示	【主体的に学習に取り組む態度】 健康を支える環境づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。				
	単元 10 医療制度とその活用 【知識及び技能】 医療制度・保険の仕組みについて理解する。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 医療制度・医療保険、その活用	次の観点別評価基準により評価する。 【知識及び技能】 医療制度・保険の仕組みについて理解したことを言ったり書いたりしている。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 医療機関の活用の仕方について、関連した情報を整理し、生活の質の向上に向けた課題解決に応用することができる。	・教材 教科書等	【思考力、判断力、表現力 等】 健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。	○	○	○	3
	【学びに向かう力、人間性 等】 医療保険の仕組みについて理解しようとしている。	・一人1台端末の活用（場面） 資料提示	【主体的に学習に取り組む態度】 健康を支える環境づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。				
	単元 11 医薬品の制度とその活用 【知識及び技能】 医薬品には、承認制度や販売に関する規制が設けられていることについて理解する。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 医薬品の種類と承認制度	次の観点別評価基準により評価する。 【知識及び技能】 医薬品には、承認制度や販売に関する規制が設けられていることについて理解したことを言ったり書いたりしている。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 販売に規制が設けられていることと関連付けながら、生活の質の向上のために利用の仕方を整理することができる。	・教材 教科書等	【思考力、判断力、表現力 等】 健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。	○	○	○	2
	【学びに向かう力、人間性 等】 医薬品には、承認制度や販売に関する規制が設けられていることについて理解しようとしている。	・一人1台端末の活用（場面） 資料提示	【主体的に学習に取り組む態度】 健康を支える環境づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。				
	定期考査（学年末考査）						1

[illegible]

	【 知 識 及 び 技 能 】	【 思考力、判断力、表現力 等 】	【 学びに向かう力、人間性 等 】
科 目 目 標	基本的な単語、語句、文法までを繰り返し覚える。	覚えた単語、文法を活用して、短い会話をしたり、短文を書くことができる。	粘り強く学習し、発音を磨いたり、単語をたくさん覚えたりして、英語に一層慣れ親しもうとする。

[illegible]

教 科 :	外国語	科 目 :	英語コミュニケーションⅡ	単位数 :	2
対象年次・クラス :	2 年次三修制				
教 材 :	教科書 VISTA English Communication Ⅱ (三省堂)				
	補助教材 英単語ターゲット1200 改訂版 書き覚えノート (旺文社) プリント I C T 機器				

	【 知 識 及 び 技 能 】	【 思考力、判断力、表現力 等 】	【 学びに向かう力、人間性 等 】
教科 目 標	読み取り、聞き取りに必要な単語、語句、文法を覚えたり、使用したりする。	学習内容を組み合わせて、自己の思いや考えを、話したり書いたりして英語で基礎的なコミュニケーションができる。	伝える相手を意識して、内容を整理し、よりわかりやすい表現をしようと工夫や努力ができる。

	【 知 識 及 び 技 能 】	【 思考力、判断力、表現力 等 】	【 学びに向かう力、人間性 等 】
科 目 目 標	基本的な単語、語句、文法までを繰り返し覚える。	覚えた単語、文法を活用して、短い会話をしたり、短文を書くことができる。	粘り強く学習し、発音を磨いたり、単語をたくさん覚えたりして、英語に一層慣れ親しもうとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領 域					評 価 基 準		知	思	態	配当時間
			聞	読	話・写	読・英	書						
3 学 期	単元 5 Lesson5	指導項目に対し、次の教材等を活用する。						次の観点別評価基準により評価する。					17
	【知識及び技能】 現在完了進行形、過去完了形、過去完了進行形の表現を用い、話したり、書いたりできる。	・指導事項 現在完了進行形、過去完了形、過去完了進行形						【知識及び技能】 基本的な単語・語句・文を用いて、即興で伝え合う技能を身に付けている。					
	【思考力、判断力、表現力 等】 景観を守るための取組みを考え、伝え合うことができる。	・教材 教科書、単語帳、プリント等	○	○	○	○	○	【思考力、判断力、表現力 等】 世界遺産を取り巻く歴史と環境、世界遺産の継承について考え、伝え合うことができている。		○	○	○	
	【学びに向かう力、人間性 等】 授業での取組みや発表において、主体的に取り組むことができる。	・一人1台端末の活用(場面) 課題の提示、調べ学習						【主体的に学習に取り組む態度】 授業での取組みや発表において、主体的に取り組むことができている。					
	定期考査(学年末考査)												1

単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	領 域					評 価 基 準				知	思	態	配当時間
			聞	読	聴・音	語・英	書								
学 期	単元 6 Lesson 6	指導項目に対し、次の教材等を活用する。						次の観点別評価基準により評価する。							
	【知識及び技能】 現在完了形を用い、話したり、書いたりできる。	・指導事項 アルファベットの読み書き、単語の書き方・調べ方、簡単な口頭練習						【知識及び技能】 基本的な単語・語句・文を用いて、即興で伝え合う技能を身に付けている。							
	【思考力、判断力、表現力 等】 世界遺産について知っていることや調べたことを伝え合うことができる。	・教材 教科書、単語帳、プリント等	○	○	○	○	○	【思考力、判断力、表現力 等】 世界遺産について知っていることを紹介したり、調べてわかったことをまとめたりして、伝え合うことができる。				○	○	○	13
	【学びに向かう力、人間性 等】 授業での取り組みや発表において、主体的に取り組むことができる。	・一人1台端末の活用（場面） 課題の提示、調べ学習						【主体的に学習に取り組む態度】 授業での取り組みや発表において、主体的に取り組むことができる。							
	定期考査（1学期中間考査）														1
	単元 7 Lesson 7	指導項目に対し、次の教材等を活用する。						次の観点別評価基準により評価する。							
	【知識及び技能】 受け身の表現を用い、話したり、書いたりできる。	・指導事項 受け身						【知識及び技能】 基本的な単語・語句・文を用いて、即興で伝え合う技能を身に付けている。							
	【思考力、判断力、表現力 等】 人とAIが共存する未来について考え、伝え合うことができる。	・教材 教科書、単語帳、プリント等	○	○	○	○	○	【思考力、判断力、表現力 等】 人とAIの共存について理解したことを基にその未来について考え、伝え合うことができる。				○	○	○	13
	【学びに向かう力、人間性 等】 授業での取り組みや発表において、主体的に取り組むことができる。	・一人1台端末の活用（場面） 課題の提示、調べ学習						【主体的に学習に取り組む態度】 授業での取り組みや発表において、主体的に取り組むことができる。							
定期考査（1学期期末考査）														1	

科目 目 標	【 知 識 及 び 技 能 】	【 思考力、判断力、表現力 等 】	【 学びに向かう力、人間性 等 】
	アルファベットから基本的な単語、語句、文法までを繰り返し覚える。	覚えた単語、文法を活用して、短い会話をしたり、短文を書くことができる。	粘り強く学習し、発音を磨いたり、単語をたくさん覚えたりして、英語に一層慣れ親しもうとする。

[illegible]

単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	領 域					評 価 基 準					知	思	態	配当時数	
			聞	読	説・中	話・表	書										
3 学 期	単元「10」Lesson 10	指導項目に対し、次の教材等を活用する。							次の観点別評価基準により評価する。								
	【知識及び技能】 比較の表現を用い、話したり、書いたりできる。	・指導事項 比較							【知識及び技能】 基本的な単語・語句・文を用いて、即興で伝え合う技能を身に付けている。								
	【思考力、判断力、表現力 等】 未来の社会のために「エシカル」を選択することを考え、伝え合うことができる。	・教材 教科書、単語帳、プリント等	○	○	○	○	○		【思考力、判断力、表現力 等】 ファッションなど身近なテーマをきっかけにSDG s と関連付けて考え、伝え合うことができる。					○	○	○	17
	【学びに向かう力、人間性 等】 授業での取り組みや発表において、主体的に取り組むことができる。	・一人1台端末の活用（場面） 課題の提示、調べ学習							【主体的に学習に取り組む態度】 授業での取り組みや発表において、主体的に取り組むことができる。								
	定期考査（学年末考査）																1

教 科：	家庭	科 目：	家庭基礎	単位数：	2
対象年次・クラス：	2 年次				
教 材：	教科書	新図説家庭基礎（実教出版）			
	補助教材	プリント I C T 機器			

教科目	【 知 識 及 び 技 能 】	【 思考力、判断力、表現力 等 】	【 学びに向かう力、人間性 等 】
	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらにかかわる技能を身につけている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

科目目標	【 知 識 及 び 技 能 】	【 思考力、判断力、表現力 等 】	【 学びに向かう力、人間性 等 】
	社会で自立し、生きるために必要な知識・技能を身につける。	家庭や地域及び社会の中の問題を見つけ、よりよく生きる方法を思考・判断する。	自分の生活を振り返り、改善する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評 価 規 準	知	思	態	配当時数
学 期	単元 1 自分らしい生き方と家族	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 ・自分らしい生き方について理解する。	・指導事項 ・生涯発達する人生 ・生活を支える労働 ・現代の家族	【知識及び技能】 ・自分らしい生き方について理解することができる。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 ・自分自身の生活を見つめ、自立へむけて課題を発見し、将来の発達課題ともかわらせ自身の将来について思考・判断する。	・教材 教科書	【思考力、判断力、表現力 等】 ・自分自身の生活を見つめ、自立へむけて課題を発見し、将来の発達課題ともかわらせ自身の将来について思考・判断することができる。	○	○	○	15
	【学びに向かう力、人間性 等】 ・自己分析をして、自分らしい生き方について考える。	・一人1台端末の活用（場面）	【主体的に学習に取り組む態度】 ・自己分析をして、自分らしい生き方について考えられる。				
	単元 2 衣生活をつくる	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 ・衣服の選択や素材・管理について理解する。	・指導事項 ・衣生活の計画と購入・管理 ・衣服素材の種類と特徴 ・被服製作実習	【知識及び技能】 ・衣服の機能や素材について理解することができる。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 ・快適な衣服とはどのような着心地か考える。	・教材 教科書	【思考力、判断力、表現力 等】 ・快適な衣服とはどのような着心地か考えられる。	○	○	○	12
	【学びに向かう力、人間性 等】 ・被服製作実習に意欲的に取り組む。	・一人1台端末の活用（場面） ・被服製作実習の模範動画を視聴	【主体的に学習に取り組む態度】 ・被服製作実習に意欲的に取り組んでいる。				
	定期考査（1学期期末考査）						1
	単元 3 住生活をつくる	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
学 期	【知識及び技能】 ・住まいの機能や地域性豊かな住まいの文化を理解する。	・指導事項 ・人と住まいのかかわり ・健康に配慮した住まい ・安全な住まい	【知識及び技能】 ・住まいの機能や地域性豊かな住まいの文化を理解できる。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 ・住環境の役割について学び、地域社会とのかわりも含めて、よりよい住環境について思考する。	・教材 教科書	【思考力、判断力、表現力 等】 ・住環境の役割について学び、地域社会とのかわりも含めて、よりよい住環境について思考することができる。	○	○	○	13
	【学びに向かう力、人間性 等】 ・将来どのような家に住みたいかシミュレーションし、よりよい住環境について考える。	・一人1台端末の活用（場面） 1人暮らしの家探し	【主体的に学習に取り組む態度】 ・将来どのような家に住みたいかシミュレーションし、よりよい住環境について考えることができる。				
	単元 4 食生活をつくる	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 ・栄養・食品に関する科学的な知識や調理の基礎的な技術を身につけ、それを実際の食生活に生かす。	・指導事項 ・私たちの食生活と健康 ・五大栄養素・食品の衛生・調理の基本	【知識及び技能】 ・栄養・食品に関する科学的な知識や調理の基礎的な技術を身につけ、それを実際の食生活に生かすことができる。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 ・食品と栄養、調理との関係において、科学的な視点をもって、知識を深める。	・教材 教科書	【思考力、判断力、表現力 等】 ・食品と栄養、調理との関係において、科学的な視点をもって、知識を深めようとしている。	○	○	○	17
	【学びに向かう力、人間性 等】 ・自分の現在の食生活を振り返り、課題を見つけ、改善にむけて積極的に取り組む。	・一人1台端末の活用（場面） 食物かるた製作時にイラスト参照	【主体的に学習に取り組む態度】 ・自分の現在の食生活を振り返り、課題を見つけ、改善にむけて積極的に取り組もうとしている。				
	定期考査（2学期期末考査）						1
	単元 5 消費行動を考える	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 ・さまざまな契約や主体的な消費行動について理解する。	・指導事項 ・特殊詐欺 ・18歳成人でできること	【知識及び技能】 ・さまざまな契約や主体的な消費行動について理解できている。				
学 期	【思考力、判断力、表現力 等】 ・生活情報を収集し、環境にも配慮した適切な消費行動を思考・判断する。	・教材 教科書	【思考力、判断力、表現力 等】 ・生活情報を収集し、環境にも配慮した適切な消費行動を思考・判断できる。	○	○	○	10
	【学びに向かう力、人間性 等】 ・実際の生活において、環境に配慮した消費行動をとることができる。	・一人1台端末の活用（場面）	【主体的に学習に取り組む態度】 ・実際の生活において、環境に配慮した消費行動をとることができる。				
	単元 6 子どもとかわかる	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 ・子どもの発達について学び、社会性が育っていく過程などについて理解する。	・指導事項 ・からだの発達 ・すこやかに育つ環境と支援	【知識及び技能】 ・子どもの発達について学び、社会性が育っていく過程などについて理解できる。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 ・人の発達において、保育や人とのかわり方を思考・判断する。	・教材 教科書	【思考力、判断力、表現力 等】 ・人の発達において、保育や人とのかわり方を思考・判断する。	○	○	○	7
	【学びに向かう力、人間性 等】 ・子どもの発達に対し、どのような関わり方がよいか考えようとしている。	・一人1台端末の活用（場面）	【主体的に学習に取り組む態度】 ・子どもの発達に対し、どのような関わり方がよいか考えようとしている。				
	定期考査（学年末考査）						1

教 科：	情報	科 目：	情報 I	単位数：	2
対象年次・クラス：	2 年次				
教 材：	教科書	情報 I 図解と実習 図解編、実習編			
	補助教材	プリント I C T 機器			

	【 知 識 及 び 技 能 】	【 思考力、判断力、表現力 等 】	【 学びに向かう力、人間性 等 】
教科 目 標	情報と情報技術を活用した問題の発見・解決等の方法や、情報化の進展が社会の中で果たす役割や影響、情報に関する法律・規則やマナー、個人が果たす役割や責任等について情報の科学的な理解に裏打ちされた形で理解し、情報と情報技術を適切に活用するために必要な技能を身に付ける。	様々な事象と情報とその結び付きの視点から捉え、複数の情報を結びつけて新たな意味を見いだす力や、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を身に付ける。	情報や情報技術を適切かつ効果的に活用して情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与しようとする態度を身に付ける。

	【 知 識 及 び 技 能 】	【 思考力、判断力、表現力 等 】	【 学びに向かう力、人間性 等 】
科 目 目 標	効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解し、技能を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについて理解する。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いることができる。	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評 価 規 準	知	思	態	配当時数
学 期	単元 1 オリエンテーション	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 PC基本操作や最低限の情報モラルを身に付ける。	・指導事項 過去に学んだスキルのチェック。コンピュータを使うために必要な基本的事項の確認。文字入力やファイル操作の方法の確認。	【知識及び技能】 PC基本操作や最低限の情報モラルを身に付けている。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 PC等の適切な活用方法について考えることができる。	・教材 教科書	【思考力、判断力、表現力 等】 PC等の適切な活用について考えることができる。	○	○	○	3
	【学びに向かう力、人間性 等】 PC等の操作を主体的に取り組もうとしている。	・一人1台端末の活用（場面）	【主体的に学習に取り組む態度】 PC等の操作を主体的に取り組もうとしている。				
	単元 2 情報社会を見渡してみよう	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 モラルや著作権などを理解する。	・指導事項 身近な事例からの情報社会の意識。基本的な情報モラル。情報やメディア、情報社会の特徴。情報セキュリティを高める方法、情報社会を支える法律。	【知識及び技能】 モラルや著作権などを理解できている。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 情報のリスクに備えられる。	・教材 教科書	【思考力、判断力、表現力 等】 情報のリスクに備えられている。	○	○	○	8
	【学びに向かう力、人間性 等】 身近な生活において知識をいかそうとする。	・一人1台端末の活用（場面）	【主体的に学習に取り組む態度】 身近な生活において知識をいかそうとしている。				
	単元 3 問題解決実習	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 問題解決の手法を理解する。	・指導事項 問題の発見。アンケート作成。アンケート結果からの資料作成。解決策の検討。問題解決に向けた提案のプレゼン。	【知識及び技能】 問題解決の手法を理解している。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 問題解決の手法を使って、発見や整理分析・発信を行うことができる。	・教材 教科書	【思考力、判断力、表現力 等】 問題解決の手法を使って、発見や整理分析・発信を行うことができる。	○	○	○	8
	【学びに向かう力、人間性 等】 グループ活動や個人活動に主体的に参加できる。	・一人1台端末の活用（場面）	【主体的に学習に取り組む態度】 グループ活動や個人活動において意見を出し、プレゼン準備を行い、主体的に参加している。				
	単元 4 情報デザイン	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 デザインの基礎を身につける。	・指導事項 情報をうまく伝えるための情報デザインの考え方。情報を伝える手段の特徴。情報デザインによる問題解決の流れ。	【知識及び技能】 デザインの基礎を身につけている。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 デザインの基礎を活用して作品を作ることができる。	・教材 教科書	【思考力、判断力、表現力 等】 デザインの基礎を活用して作品を作ることができる。	○	○	○	8
	【学びに向かう力、人間性 等】 作品製作に主体的に参加できる。	・一人1台端末の活用（場面）	【主体的に学習に取り組む態度】 作品製作に主体的に参加できる。				
定期考査（1学期期末考査）							1

教 科：	情報	科 目：	情報 I	単位数：	2
対象年次・クラス：	2 年次				
教 材：	教科書	情報 I 図解と実習 図解編、実習編			
	補助教材	プリント I C T 機器			

教科目標	【 知 識 及 び 技 能 】	【 思考力、判断力、表現力 等 】	【 学びに向かう力、人間性 等 】
	情報と情報技術を活用した問題の発見・解決等の方法や、情報化の進展が社会の中で果たす役割や影響、情報に関する法律・規則やマナー、個人が果たす役割や責任等について情報の科学的な理解に裏打ちされた形で理解し、情報と情報技術を適切に活用するために必要な技能を身に付ける。	様々な事象と情報とその結び付きの視点から捉え、複数の情報を結びつけて新たな意味を見いだす力や、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を身に付ける。	情報や情報技術を適切かつ効果的に活用して情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与しようとする態度を身に付ける。

科目目標	【 知 識 及 び 技 能 】	【 思考力、判断力、表現力 等 】	【 学びに向かう力、人間性 等 】
	効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解し、技能を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについて理解する。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いることができる。	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評 価 規 準	知	思	態	配当時数
学 期	単元 5 メディアとコミュニケーション	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 メディアなどの仕組みを理解する。	・指導事項 メディアとコミュニケーション手段の発達。 インターネット上のコミュニケーション手段とその特性。ソーシャルメディアの特徴と活用する際の注意点。	【知識及び技能】 メディアなどの仕組みを理解している。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 メディアの影響を考えることができる。	・教材 教科書	【思考力、判断力、表現力 等】 メディアの影響を考えることができる。	○	○	○	8
	【学びに向かう力、人間性 等】 メディアの特性について考えを深めようとする。	・一人 1 台端末の活用（場面）	【主体的に学習に取り組む態度】 メディアの特性について考えを深めようとしている。				
	単元 6 コンピュータサイエンスアンブレタド実習	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 ペーパープロトタイプ仕組みを理解する。	・指導事項 コンピュータを使わずに情報科学を学ぶ	【知識及び技能】 ペーパープロトタイプ仕組みを理解している。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 知識を使って企画などを表現できる。	・教材 教科書	【思考力、判断力、表現力 等】 知識を使って企画などを表現できている。	○	○	○	8
	【学びに向かう力、人間性 等】 主体的に話し合いに参加できる。	・一人 1 台端末の活用（場面）	【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に話し合いや実習に参加できている。				
	単元 7 情報のデジタル化	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 デジタルの基礎を理解する。	・指導事項 アナログとデジタルの特徴。2 進法による表現と情報量の単位。文字、音、画像、動画のデジタル化のしくみ。	【知識及び技能】 デジタルの基礎を理解している。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 デジタル化について考察できる。	・教材 教科書	【思考力、判断力、表現力 等】 デジタル化について考察を深めることができる。	○	○	○	8
	【学びに向かう力、人間性 等】 デジタル化の仕組みについて主体的に学習しようとする。	・一人 1 台端末の活用（場面）	【主体的に学習に取り組む態度】 デジタル化の仕組みについて主体的に学習しようとしている。				
	単元 8 コンピュータのしくみ	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 コンピュータの基礎を理解する。	・指導事項 コンピュータの基本的な構成とそれぞれの役割。CPU による演算のしくみ。	【知識及び技能】 コンピュータの基礎を理解している。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 コンピュータのしくみを説明できる。	・教材 教科書	【思考力、判断力、表現力 等】 コンピュータのしくみを説明できている。	○	○	○	7
	【学びに向かう力、人間性 等】 主体的にコンピュータの仕組みを理解しようとする。	・一人 1 台端末の活用（場面）	【主体的に学習に取り組む態度】 主体的にコンピュータの仕組みを理解しようとしている。				
定期考査（2 学期期末考査）							1

教 科：	情報	科 目：	情報 I	単位数：	2
対象年次・クラス：	2 年次				
教 材：	教科書	情報 I 図解と実習 図解編、実習編			
	補助教材	プリント I C T 機器			

教科目標	【 知 識 及 び 技 能 】	【 思考力、判断力、表現力 等 】	【 学びに向かう力、人間性 等 】
	情報と情報技術を活用した問題の発見・解決等の方法や、情報化の進展が社会の中で果たす役割や影響、情報に関する法律・規則やマナー、個人が果たす役割や責任等について情報の科学的な理解に裏打ちされた形で理解し、情報と情報技術を適切に活用するために必要な技能を身に付ける。	様々な事象と情報とその結び付きの視点から捉え、複数の情報を結びつけて新たな意味を見いだす力や、問題の発見・解決に向けて情報技術を適切かつ効果的に活用する力を身に付ける。	情報や情報技術を適切かつ効果的に活用して情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与しようとする態度を身に付ける。

科目目標	【 知 識 及 び 技 能 】	【 思考力、判断力、表現力 等 】	【 学びに向かう力、人間性 等 】
	効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解し、技能を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについて理解する。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いることができる。	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評 価 規 準	知	思	態	配当時数
3 学 期	単元 9 アルゴリズムとプログラム	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 アルゴリズムの基礎を理解する。	・指導事項 アルゴリズムを図式化する方法。アルゴリズムの基本構造。プログラムとプログラミング言語。	【知識及び技能】 アルゴリズムの基礎を理解している。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 効率の良いプログラムを考えることができる。	・教材 教科書	【思考力、判断力、表現力 等】 効率の良いプログラムを考えることができる。	○	○	○	6
	【学びに向かう力、人間性 等】 主体的にプログラミングを行うことができる。	・一人 1 台端末の活用（場面）	【主体的に学習に取り組む態度】 主体的にプログラミングを行っている。				
	単元 10 モデル化とシミュレーション	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 モデル化とシミュレーションの基礎を理解する。	・指導事項 モデル化の目的や方法。シミュレーションによる問題解決の例。	【知識及び技能】 モデル化とシミュレーションの基礎を理解している。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 モデル化とシミュレーションについて説明できる。	・教材 教科書	【思考力、判断力、表現力 等】 モデル化とシミュレーションについて説明できている。	○	○	○	6
	【学びに向かう力、人間性 等】 主体的にシミュレーションを行うことができる。	・一人 1 台端末の活用（場面）	【主体的に学習に取り組む態度】 主体的にシミュレーションを行っている。				
	単元 11 情報通信ネットワークのしくみ	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 ネットワークの基本を理解する。	・指導事項 情報通信ネットワークの基本的な構成。データ伝送のしくみ。情報セキュリティの考え方や対策方法。	【知識及び技能】 ネットワークの基本を理解している。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 ネットワークの仕組みを説明できる。	・教材 教科書	【思考力、判断力、表現力 等】 ネットワークのしくみを説明できている。	○	○	○	5
	【学びに向かう力、人間性 等】 主体的にネットワーク構築を行うことができる。	・一人 1 台端末の活用（場面）	【主体的に学習に取り組む態度】 主体的にネットワーク構築を行っている。				
	定期考査（学年末考査）						1

教 科：	総合的な探究の時間	科 目：	総合的な探究の時間（「人間と社会」 1 単位を含む）	単位数：	2
対象年次・クラス：	2年次				
教 材：		プリント I C T機器			

	【 知 識 及 び 技 能 】	【 思考力、判断力、表現力 等 】	【 学びに向かう力、人間性 等 】
教科 目 標	体験活動や様々なキャリアを学ぶことで社会性や将来必要な知識・技能を身に付ける。	体験等を通して得た知識や自己の考えを、話したり書いたりして、他者に伝えることができる。	将来の自己のあり方、生き方について、自らさらに学習する。

	【 知 識 及 び 技 能 】	【 思考力、判断力、表現力 等 】	【 学びに向かう力、人間性 等 】
科 目 目 標	体験活動や様々なキャリアを学ぶことで社会性や将来必要な知識・技能を身に付ける。	体験等を通して学んだことや調べ学習で得た知識をもとに、プレゼンテーションの構成を考え、発表ができる。	粘り強く学習し、学び合ったり、教え合ったりして、コミュニケーション能力を高め、人間と社会、職業や進路について、時間をかけてより一層考察する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評 価 規 準	知	思	態	配当時数
1 学 期	単元 1 将来設計・人生すごろく 【知識及び技能】 キャリアについて必要な知識や技能を身に付ける。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 グループワーク・ワークショップ	次の観点別評価基準により評価する。 【知識及び技能】 キャリアについて必要な知識や技能を身に付けている。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 キャリアについての課題を的確に捉え、解決に向けた方策を示すことができる。	・教材 プリント・ＩＣＴ機器	【思考力、判断力、表現力 等】 キャリアについての課題を的確に捉え、解決に向けた方策を示すことができる。	○	○	○	8
	【学びに向かう力、人間性 等】 キャリアについての課題に積極的に取り組み、成果物をしっかり提出することができる。	・一人１台端末の活用（場面） 資料提示	【主体的に学習に取り組む態度】 キャリアについての課題に積極的に取り組み、成果物をしっかり提出することができる。				
	単元 2 モチベーショングラフ 【知識及び技能】 キャリアについて必要な知識や技能を身に付ける。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 グループワーク・ワークショップ	次の観点別評価基準により評価する。 【知識及び技能】 キャリアについて必要な知識や技能を身に付けている。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 キャリアについての課題を的確に捉え、解決に向けた方策を示すことができる。	・教材 プリント・ＩＣＴ機器	【思考力、判断力、表現力 等】 キャリアについての課題を的確に捉え、解決に向けた方策を示すことができる。	○	○	○	8
	【学びに向かう力、人間性 等】 キャリアについての課題に積極的に取り組み、成果物をしっかり提出することができる。	・一人１台端末の活用（場面） 資料提示	【主体的に学習に取り組む態度】 キャリアについての課題に積極的に取り組み、成果物をしっかり提出することができる。				
	単元 3 保育施設体験 【知識及び技能】 キャリアについて必要な知識や技能を身に付ける。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 グループワーク・ワークショップ	次の観点別評価基準により評価する。 【知識及び技能】 キャリアについて必要な知識や技能を身に付けている。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 キャリアについての課題を的確に捉え、解決に向けた方策を示すことができる。	・教材 プリント・ＩＣＴ機器	【思考力、判断力、表現力 等】 キャリアについての課題を的確に捉え、解決に向けた方策を示すことができる。	○	○	○	6
	【学びに向かう力、人間性 等】 キャリアについての課題に積極的に取り組み、成果物をしっかり提出することができる。	・一人１台端末の活用（場面） 資料提示	【主体的に学習に取り組む態度】 キャリアについての課題に積極的に取り組み、成果物をしっかり提出することができる。				
	単元 4 社会福祉施設体験 【知識及び技能】 キャリアについて必要な知識や技能を身に付ける。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 グループワーク・ワークショップ	次の観点別評価基準により評価する。 【知識及び技能】 キャリアについて必要な知識や技能を身に付けている。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 キャリアについての課題を的確に捉え、解決に向けた方策を示すことができる。	・教材 プリント・ＩＣＴ機器	【思考力、判断力、表現力 等】 キャリアについての課題を的確に捉え、解決に向けた方策を示すことができる。	○	○	○	6
	【学びに向かう力、人間性 等】 キャリアについての課題に積極的に取り組み、成果物をしっかり提出することができる。	・一人１台端末の活用（場面） 資料提示	【主体的に学習に取り組む態度】 キャリアについての課題に積極的に取り組み、成果物をしっかり提出することができる。				

教 科：	総合的な探究の時間	科 目：	総合的な探究の時間（「人間と社会」１単位を含む）	単位数：	2
対象年次・クラス：	2年次				
教 材：	プリント ＩＣＴ機器				
	0				

教科目標	【 知 識 及 び 技 能 】	【 思考力、判断力、表現力 等 】	【 学びに向かう力、人間性 等 】
	体験活動や様々なキャリアを学ぶことで社会性や将来必要な知識・技能を身に付ける。	体験等を通して得た知識や自己の考えを、話したり書いたりして、他者に伝えることができる。	将来の自己のあり方、生き方について、自らさらに学習する。

科目目標	【 知 識 及 び 技 能 】	【 思考力、判断力、表現力 等 】	【 学びに向かう力、人間性 等 】
	体験活動や様々なキャリアを学ぶことで社会性や将来必要な知識・技能を身に付ける。	体験等を通して学んだことや調べ学習で得た知識をもとに、プレゼンテーションの構成を考え、発表ができる。	粘り強く学習し、学び合ったり、教え合ったりして、コミュニケーション能力を高め、人間と社会、職業や進路について、時間をかけてより一層考察する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評 価 規 準	知	思	態	配当時数
2 学 期	単元 5 社会人の話を聞く①	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 キャリアについて必要な知識や技能を身に付ける。	・指導事項 グループワーク・ワークショップ	【知識及び技能】 キャリアについて必要な知識や技能を身に付けている。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 キャリアについての課題を的確に捉え、解決に向けた方策を示すことができる。	・教材 プリント・ＩＣＴ機器	【思考力、判断力、表現力 等】 キャリアについての課題を的確に捉え、解決に向けた方策を示すことができる。	○	○	○	12
	【学びに向かう力、人間性 等】 キャリアについての課題に積極的に取り組み、成果物をしっかり提出することができる。	・一人１台端末の活用（場面） 資料提示	【主体的に学習に取り組む態度】 キャリアについての課題に積極的に取り組み、成果物をしっかり提出することができる。				
	単元 6 社会人の話を聞く②	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 キャリアについて必要な知識や技能を身に付ける。	・指導事項 グループワーク・ワークショップ	【知識及び技能】 キャリアについて必要な知識や技能を身に付けている。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 キャリアについての課題を的確に捉え、解決に向けた方策を示すことができる。	・教材 プリント・ＩＣＴ機器	【思考力、判断力、表現力 等】 キャリアについての課題を的確に捉え、解決に向けた方策を示すことができる。	○	○	○	12
	【学びに向かう力、人間性 等】 キャリアについての課題に積極的に取り組み、成果物をしっかり提出することができる。	・一人１台端末の活用（場面） 資料提示	【主体的に学習に取り組む態度】 キャリアについての課題に積極的に取り組み、成果物をしっかり提出することができる。				
	単元 7 制作学習	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 キャリアについて必要な知識や技能を身に付ける。	・指導事項 グループワーク・ワークショップ	【知識及び技能】 キャリアについて必要な知識や技能を身に付けている。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 キャリアについての課題を的確に捉え、解決に向けた方策を示すことができる。	・教材 プリント・ＩＣＴ機器	【思考力、判断力、表現力 等】 キャリアについての課題を的確に捉え、解決に向けた方策を示すことができる。	○	○	○	8
	【学びに向かう力、人間性 等】 キャリアについての課題に積極的に取り組み、成果物をしっかり提出することができる。	・一人１台端末の活用（場面） 資料提示	【主体的に学習に取り組む態度】 キャリアについての課題に積極的に取り組み、成果物をしっかり提出することができる。				

教 科：	総合的な探究の時間	科 目：	総合的な探究の時間（「人間と社会」１単位を含む）	単位数：	2
対象年次・クラス：	2年次				
教 材：	プリント ICT機器				
	0				

教科目標	【 知 識 及 び 技 能 】	【 思考力、判断力、表現力 等 】	【 学びに向かう力、人間性 等 】
	体験活動や様々なキャリアを学ぶことで社会性や将来必要な知識・技能を身に付ける。	体験等を通して得た知識や自己の考えを、話したり書いたりして、他者に伝えることができる。	将来の自己のあり方、生き方について、自らさらに学習する。

科目目標	【 知 識 及 び 技 能 】	【 思考力、判断力、表現力 等 】	【 学びに向かう力、人間性 等 】
	体験活動や様々なキャリアを学ぶことで社会性や将来必要な知識・技能を身に付ける。	体験等を通して学んだことや調べ学習で得た知識をもとに、プレゼンテーションの構成を考え、発表ができる。	粘り強く学習し、学び合ったり、教え合ったりして、コミュニケーション能力を高め、人間と社会、職業や進路について、時間をかけてより一層考察する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評 価 規 準	知	思	態	配当時数
3 学 期	単元 8 防災教育	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 キャリアについて必要な知識や技能を身に付ける。	・指導事項 グループワーク・ワークショップ	【知識及び技能】 キャリアについて必要な知識や技能を身に付けている。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 キャリアについての課題を的確に捉え、解決に向けた方策を示すことができる。	・教材 プリント・ICT機器	【思考力、判断力、表現力 等】 キャリアについての課題を的確に捉え、解決に向けた方策を示すことができる。	○	○	○	6
	【学びに向かう力、人間性 等】 キャリアについての課題に積極的に取り組み、成果物をしっかり提出することができる。	・一人1台端末の活用（場面） 資料提示	【主体的に学習に取り組む態度】 キャリアについての課題に積極的に取り組み、成果物をしっかり提出することができる。				
	単元 9 SDGs 学習	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 キャリアについて必要な知識や技能を身に付ける。	・指導事項 グループワーク・ワークショップ	【知識及び技能】 キャリアについて必要な知識や技能を身に付けている。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 キャリアについての課題を的確に捉え、解決に向けた方策を示すことができる。	・教材 プリント・ICT機器	【思考力、判断力、表現力 等】 キャリアについての課題を的確に捉え、解決に向けた方策を示すことができる。	○	○	○	6
	【学びに向かう力、人間性 等】 キャリアについての課題に積極的に取り組み、成果物をしっかり提出することができる。	・一人1台端末の活用（場面） 資料提示	【主体的に学習に取り組む態度】 キャリアについての課題に積極的に取り組み、成果物をしっかり提出することができる。				
	単元 10 進路学習	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 キャリアについて必要な知識や技能を身に付ける。	・指導事項 グループワーク・ワークショップ	【知識及び技能】 キャリアについて必要な知識や技能を身に付けている。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 キャリアについての課題を的確に捉え、解決に向けた方策を示すことができる。	・教材 プリント・ICT機器	【思考力、判断力、表現力 等】 キャリアについての課題を的確に捉え、解決に向けた方策を示すことができる。	○	○	○	6
	【学びに向かう力、人間性 等】 キャリアについての課題に積極的に取り組み、成果物をしっかり提出することができる。	・一人1台端末の活用（場面） 資料提示	【主体的に学習に取り組む態度】 キャリアについての課題に積極的に取り組み、成果物をしっかり提出することができる。				